

大河原町の都市計画に関する基本的な方針

大河原町都市計画 マスタープラン

～便利と魅力がつまったまちづくり～

概要版



令和元年8月

ごあいさつ



本町は、仙南地域の中央部に位置し、雄大な蔵王連峰を背景に白石川が穏やかに流れ、春には「日本さくら名所 100 選」に選ばれた「一目千本桜」が白石川土手沿いに咲き誇る穏やかで美しい町です。古くは縄文時代から人が住み、江戸時代の頃には奥州街道の宿場町として発展し、その賑わいは今でも健在です。

周辺市町の多くで人口が減少傾向にある中、本町の人口は昭和 60 年比で 17.2% 増となっており、仙南地域の中で最も増加率が高い町です。このような状況であるということは、本町に住みたいと思っただけのほどの魅力が強いということを改めて実感します。

一方、町を取り巻く課題は多岐に渡り、今後の町の更なる発展や魅力向上のためには、計画的な取組みと政策が重要となってきました。

今後予測されている人口減少、空き家・空き店舗の増加、古くからある市街地で見られる狭隘道路や大雨等による道路の浸水といったインフラ問題、商業施設や公共施設の利便性向上、交流人口の拡大、豊かな自然環境との共生、それら課題解決のための官民共同体制などといった多種多様な課題に取り組んでいくため、このたび大河原町では「都市計画マスタープラン」を策定することとなりました。都市計画マスタープランとは、まちづくりに関する基本的な方針を定めるものです。本町では、将来目指すべき都市の基本理念を「潤いある水の流れと桜がつなぎ、彩り、誇りが育つぎゅぎゅっと便利と魅力がつまったまち」と定め、2029年を目標年次としました。

今後は、この基本理念に基づき、町民の皆さまと行政が一体となったより良いまちづくりの推進に努めて参りますので、今まで以上のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、マスタープランの策定にあたりまして、貴重なご意見を賜りました町民の皆さま、住民ワークショップにお越しいただいた参加者の皆さま、長時間マスタープランの内容について議論していただいた大河原町都市計画マスタープラン策定委員会の皆さま、大河原町都市計画審議会の皆さま、そのほか本計画に関わっていただいたすべての皆さまに、心から感謝を申し上げます。

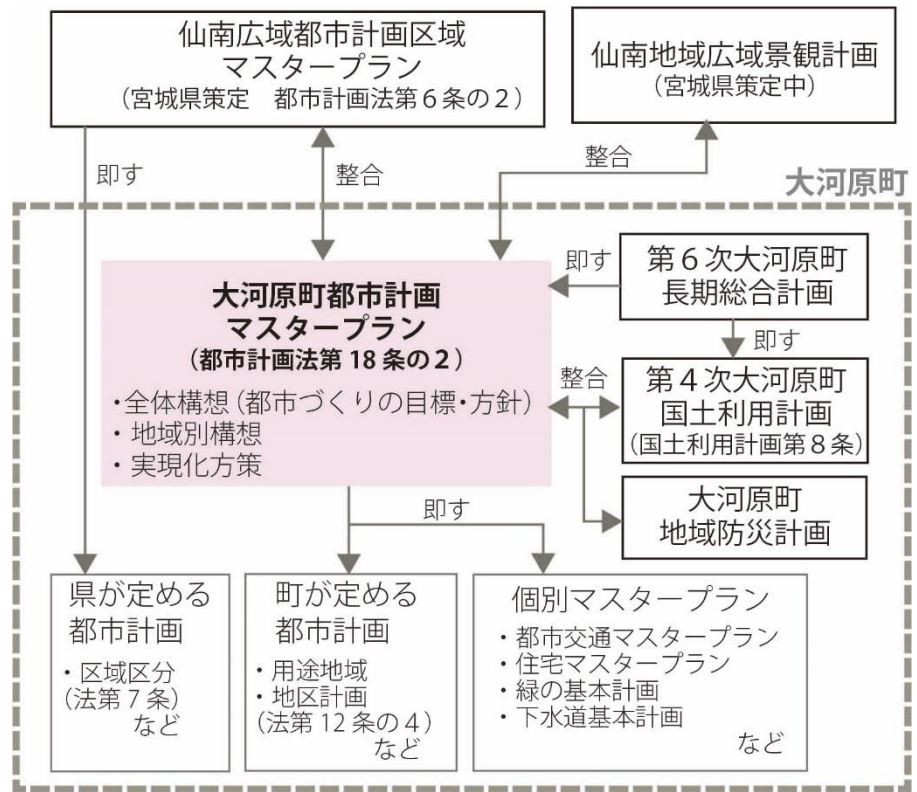
令和元年 8 月

大河原町長 齋 清志

都市計画マスタープランの計画策定の背景と目的

都市計画マスタープランは、平成4年（1992年）の都市計画法改正により創設された制度で、市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画法第18条の2）を示すものです。本町においては、上位計画となる「第6次大河原町長期総合計画」の策定を踏まえ、仙南広域圏での位置づけや人口動態、時代の変化等を踏まえながら、今後の都市全体の将来像や土地利用、交通体系等のあり方について長期的な視点で総合的な方針を定めることを目的として、大河原町都市計画マスタープランを策定しました。

○大河原町都市計画マスタープランの位置づけ



全体構想

目標年次

上位計画となる長期総合計画との整合を図り次のように設定します。

〈計画期間〉
・2019～2029年度
〈中間年次〉
・2023年度

将来人口フレーム

本計画における将来人口は、長期総合計画に即すものであるため、長期総合計画に示された施策を講じた場合とします。

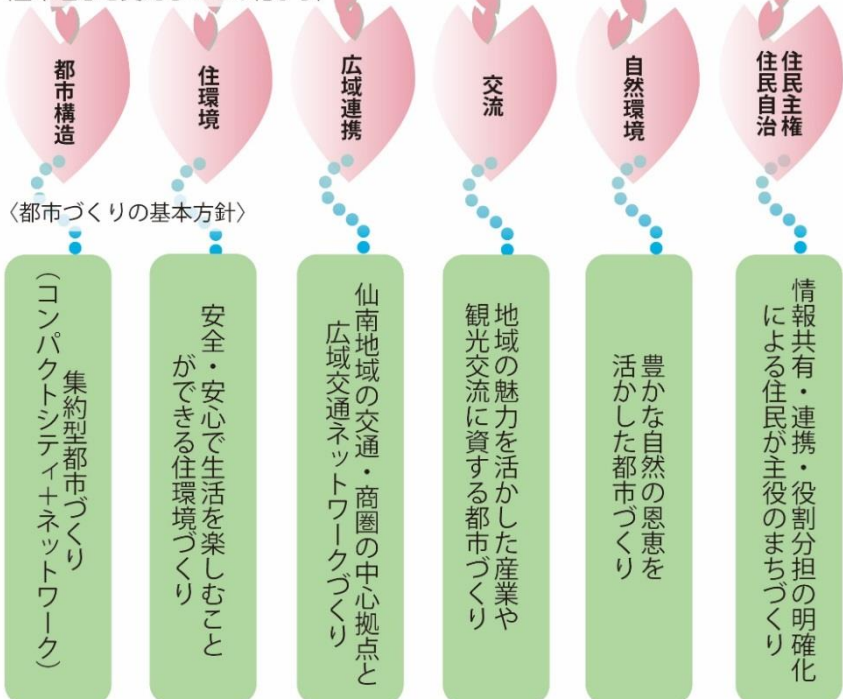
〈2029年の目標人口〉
・23,034人
〈参考：2015年の人口〉
・23,798人

基本理念

〈都市づくりの理念〉

潤いのある水の流れと桜がなぎ、彩り、誇りが育つ
ぎゅぎゅっと便利と魅力がつまったまち

〈基本理念を支える6つの花びら〉





本町の特徴ある自然と地形、古くから育まれてきた町の変遷など、現在までの町の形成や都市構造を基本とし、将来のまちづくりを見据えた土地利用ゾーニングや様々な都市機能を集約した都市拠点、骨格となる都市軸を配置します。

まちなかゾーン

- 古くからの市街地
- コンパクトでにぎわいがあり、歩いて暮らせる市街地を形成する。

市街地ゾーン

- 土地区画整理事業による整備された場所やまちなかゾーン周辺の市街地
- 居住環境の充実を図る。

商業ゾーン

- 国道4号沿いの商業店舗が集積している場所
- 既存商業店舗の維持と更なる充実を図る。

工業ゾーン

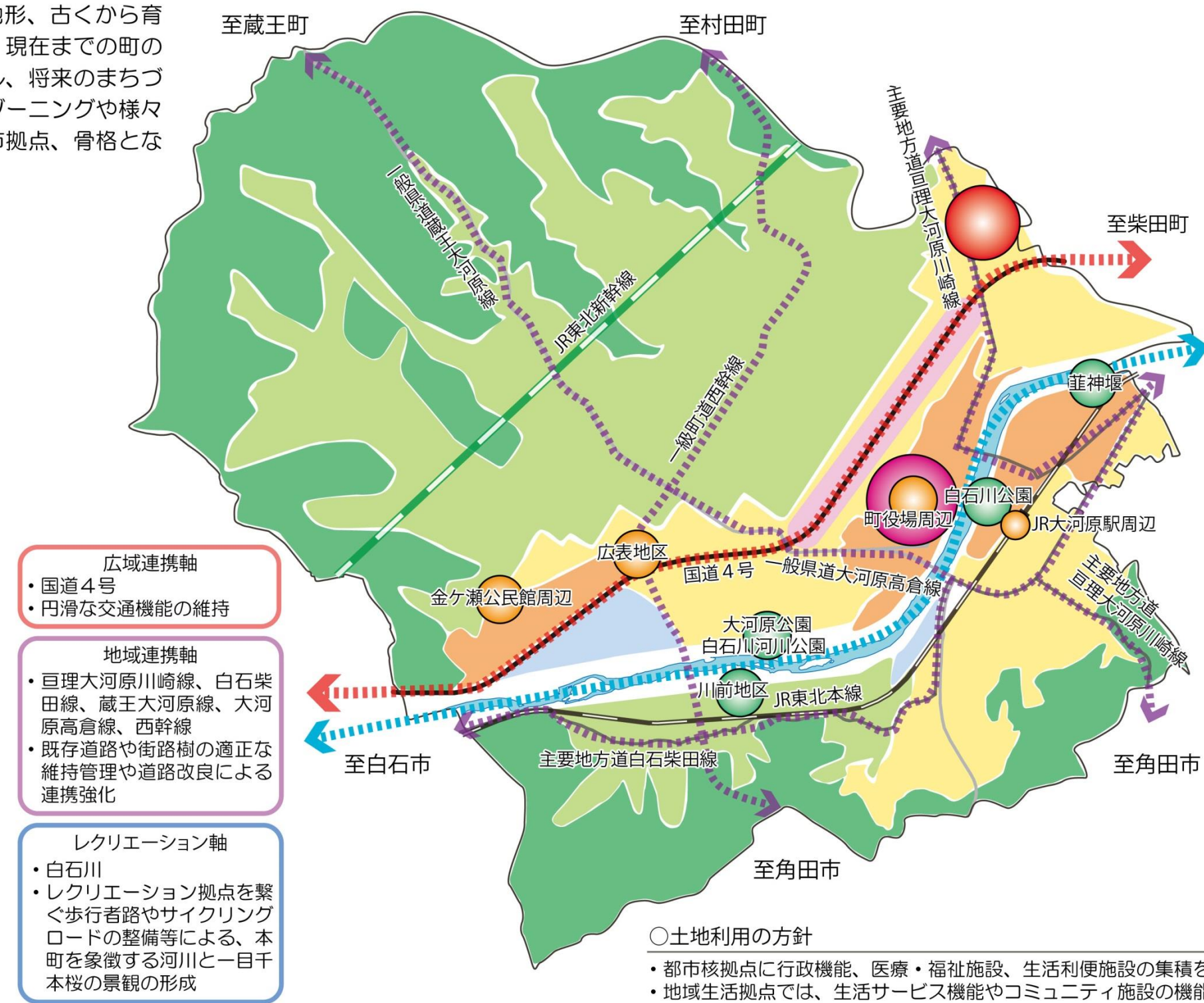
- 金ヶ瀬川根工業団地と中の倉地区
- 工場や事業所の立地とともに事業拡大と工業機能の充実を図る。

農業集落ゾーン

- 農業の土地利用が図られている場所
- 営農環境や集落の住環境を保全し、調和のとれた田園景観を目指す。

自然環境ゾーン

- 用途地域外の丘陵地
- 自然環境を保全するとともに、レクリエーション機能の強化を目指す。



広域連携軸

- 国道4号
- 円滑な交通機能の維持

地域連携軸

- 巨理大河原川崎線、白石柴田線、蔵王大河原線、大河原高倉線、西幹線
- 既存道路や街路樹の適正な維持管理や道路改良による連携強化

レクリエーション軸

- 白石川
- レクリエーション拠点を繋ぐ歩行者路やサイクリングロードの整備等による、本町を象徴する河川と一目千本桜の景観の形成

土地利用ゾーニング

まちなかゾーン	都市拠点	都市軸
市街地ゾーン	都市核拠点	広域連携軸
商業ゾーン	広域連携拠点	地域連携軸
工業ゾーン	地域生活拠点	水と桜のレクリエーション軸
農業集落ゾーン	レクリエーション拠点	
自然環境ゾーン		

都市核拠点

- 町役場周辺
- 都市活動の核となる生活、行政、交流機能を集約し、本町の中心市街地としての活性化を目指す。

広域連携拠点

- 国道4号・巨理大河原川崎線の交通結節点周辺
- 広域圏に対応した文化機能、医療・福祉等の施設の共同設置や維持・更新を図る。

地域生活拠点

- 町役場周辺、大河原駅周辺、広表・金ヶ瀬公民館周辺
- 生活サービスや医療・福祉や子育て支援等の施設の集約化し、コミュニティ拠点の活性化を目指す。

レクリエーション拠点

- 葦神堰、白石川公園、白石川河川公園、大河原公園、川前地区周辺
- 既存施設等の維持管理と再整備や蔵王の眺望等の魅力を高める河川敷の整備と農業交流を意識した整備を進める。

交通施設

	JR東北新幹線
	JR東北本線
	国道
	主要地方道
	一般県道

○土地利用の方針

- 都市核拠点に行政機能、医療・福祉施設、生活便利施設の集積を図る。
- 地域生活拠点では、生活サービス機能やコミュニティ施設の機能強化を図る。
- 広域連携拠点では、仙南広域圏を対象とした文化、事務機能、大規模医療・福祉等の維持・更新を図る。
- レクリエーション拠点では、既存の河川敷公園の維持や新たな空間整備を図る。
- まちなかゾーンと市街地ゾーンでは、低・未利用地や空き家を活用し定住促進を図る。
- 商業ゾーンや工業ゾーンでは、土地利用の維持や強化を図る。
- 農業集落ゾーンや自然環境ゾーンでは、既存土地利用の維持・保全を図り、レクリエーションの場として活用する。

○市街地整備及び保全の方針

- 都市核拠点や地域生活拠点内の既存商店街では、道路の環境整備やにぎわい空間整備を行う。
- まちなかゾーンや市街地ゾーンでは、狭隘道路の整備、街路灯設置、避難経路確保、冠水解消に努める。
- 金ヶ瀬川根工業団地では、未利用地の活用、既存工場エリアの環境保全、工業団地内の基盤整備に努める。
- 農業ゾーンでは、集落環境の維持・整備を図る。

交通施設整備・保全および見直し方針

土地利用や拠点的な機能を結ぶ骨格となる道路の整備方針や公共交通等の方針を整理します。

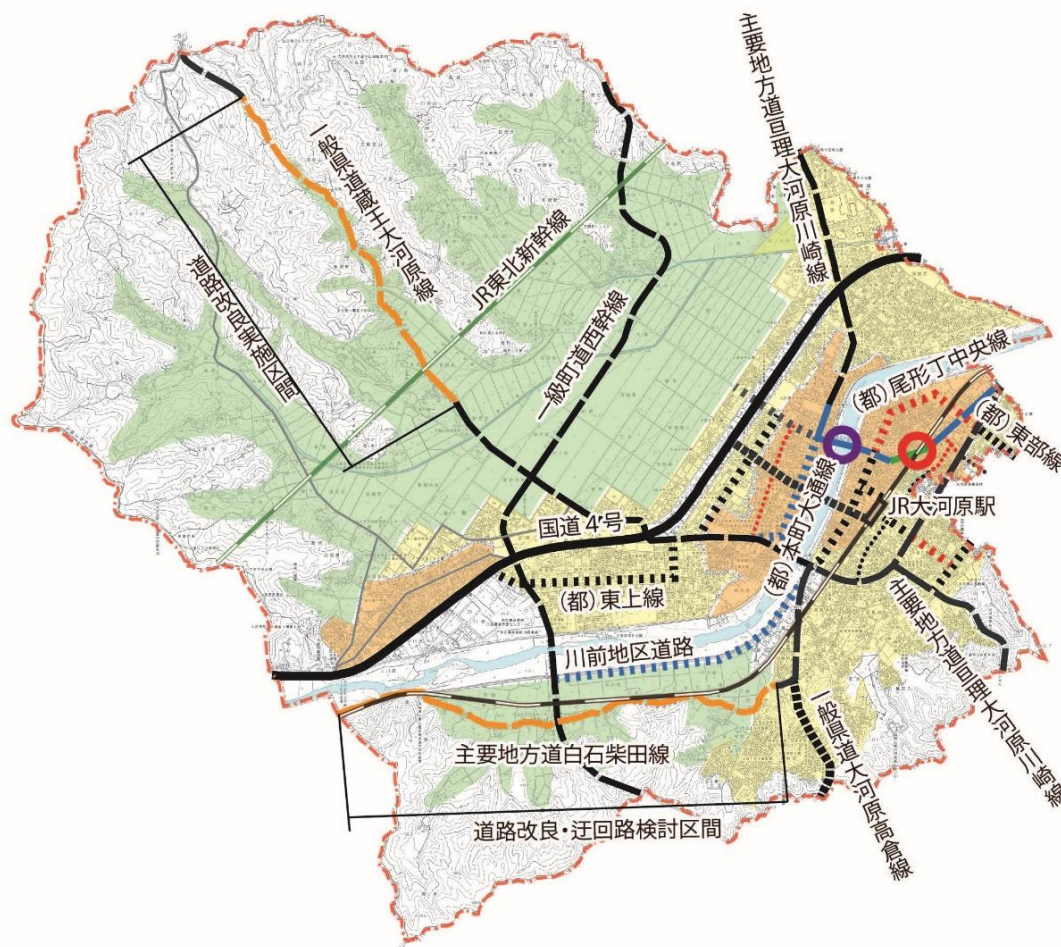
○道路

〈幹線道路整備・保全・見直しの考え方〉

- ・整備済区間（既存）：交通機能の維持
- ・概成済区間（既存）/未整備都市計画道路：現状を整理し都市計画道路の見直しを検討する。

〈生活道路〉

まちなかゾーン、市街地ゾーン、農業集落ゾーンにおいて道路改良を行い、日常の安全性や災害時の速やかな避難経路の確保に努める。



道路	整備予定区間:主要幹線道路(地域連携軸)	生活道路の改良を検討するゾーン
— 整備済:主要幹線道路(広域連携軸)	— 整備済:主要幹線道路(地域連携軸)	まちなかゾーン
- - 整備済:主要幹線道路(地域連携軸)	- - ルート変更検討区間:主要幹線道路(地域連携軸)	市街地ゾーン
●●●● 整備済:都市幹線道路	●●●● 整備済:都市幹線道路	農業集落ゾーン
●●●● 整備済:地域内幹線道路	●●●● 整備済:地域内幹線道路	鉄道
●●●● 整備済:生活道路	●●●● 見直し検討区間:生活道路	— 整備済:生活道路
○ 橋梁拡幅検討箇所(未広橋)	○ JR東北本線と未整備都市計画道路の交差点	— JR東北新幹線
		— JR東北本線

○鉄道

- ・関係機関と連携し、既存の交通機能の維持および利便性の向上について検討する。

○バス交通等

- ・関係機関と連携し、大河原駅を中心とした路線バスルートを維持する。
- ・デマンド型乗合タクシーのあり方について検討する。

公園緑地等の整備方針

都市公園をはじめとし、河川や農業、森林空間など、公園緑地等の整備方針を整理します。

○公園緑地等の整備方針

- ・市街地の状況、都市公園の分布を踏まえ、都市公園の見直しを検討する。
- ・大河原公園の施設再整備と維持管理推進を検討する。
- ・河川敷の既存公園は、河川管理者と協議し、機能強化と適正な維持管理を検討する。

○白石川河川敷の有効活用

- ・白石川右岸河川敷をレクリエーションや親水空間として整備する。
- ・河川堤防や河川敷空間を活用したサイクリングロード等の整備を検討する。

○河川と一体となった農業交流施設

- ・川前地区で、河川景観と田園景観が一体となった農業交流施設の整備を検討する。

○森林の有効活用

- ・大高山遊歩道の魅力を高める整備を検討する。

白石川河川公園と白石川右岸河川敷



都市防災の方針

大河原町地域防災計画に基づき、都市防災を進めるにあたり、都市づくりや都市施設整備に係る方針を整理します。

○風水害対策

- ・避難経路の確保や避難誘導サインの設置を検討する。

○土砂災害予防対策

- ・県と連携を図り、防災工事の推進に努める。

○市街地の防災対策

- ・都市公園に備蓄倉庫等の設置等機能強化を検討する。

○公共建築物と防災基幹施設の堅牢化・安全化

- ・防災上重要と判断される公共建築物の堅牢化・安全化の推進に努める。

○防災拠点等の整備

- ・公共施設を活用した災害救助活動空間の整備に努める。

○空き家対策

- ・管理が不十分な空き家は、所有者等に対する指導・助言や家屋解体等の代執行により、空き家の適正管理や除去の促進に努める。

○地震対策

- ・様々な災害対策を総合的に行うことで、複合災害である地震に備える。

都市環境・景観形成の方針

本町を特徴づけ、暮らす人々のアイデンティティとなる都市環境・景観の方針を整理します。

○都市環境の形成方針

- ・市街地拡大を防ぎ環境負荷の小さな都市づくり

○景観形成の方針

- ・蔵王連峰への眺望確保のための取り組みを検討・推進する。
- ・河川空間の景観づくりを検討する。
- ・町のもつ歴史を活かした景観形成を検討する。
- ・駅前や商店街の景観づくりを推進する。



上下水道・河川の整備方針

ライフラインとなる上下水道や町を横断する白石川などの整備方針を整理します。

○上下水道

- ・適正な維持管理に努める。
- ・雨水処理は、下水道計画区域内において施設整備を推進する。

○河川

- ・河川の維持管理に努める。
- ・防災面の強化を図る。



都市づくりの背景とニーズ、都市計画の方向性を踏まえ、実現化方策の方針を整理します。

○実現化方策の方針

- 官民が一体となってまちづくりを推進していくことや、官民協働のまちづくり体制を構築し、各主体の役割分担を明らかにする。
- 住民ワークショップにより、住民が特に重要・課題であると考えている点について、重点プロジェクトとして取り組む。
- 関連する法制度、補助メニューについて整理する。

○主な重点プロジェクト

（仮称）生活道路改良プロジェクト

狭隘道路、冠水する道路等の課題箇所を整理し、計画的な道路改良推進

（仮称）空き地・空き家対策プロジェクト

市街地内の空き家について速やかな除去を推進

不動産事業者等と連携した空き家の見える化、マッチング推進体制構築

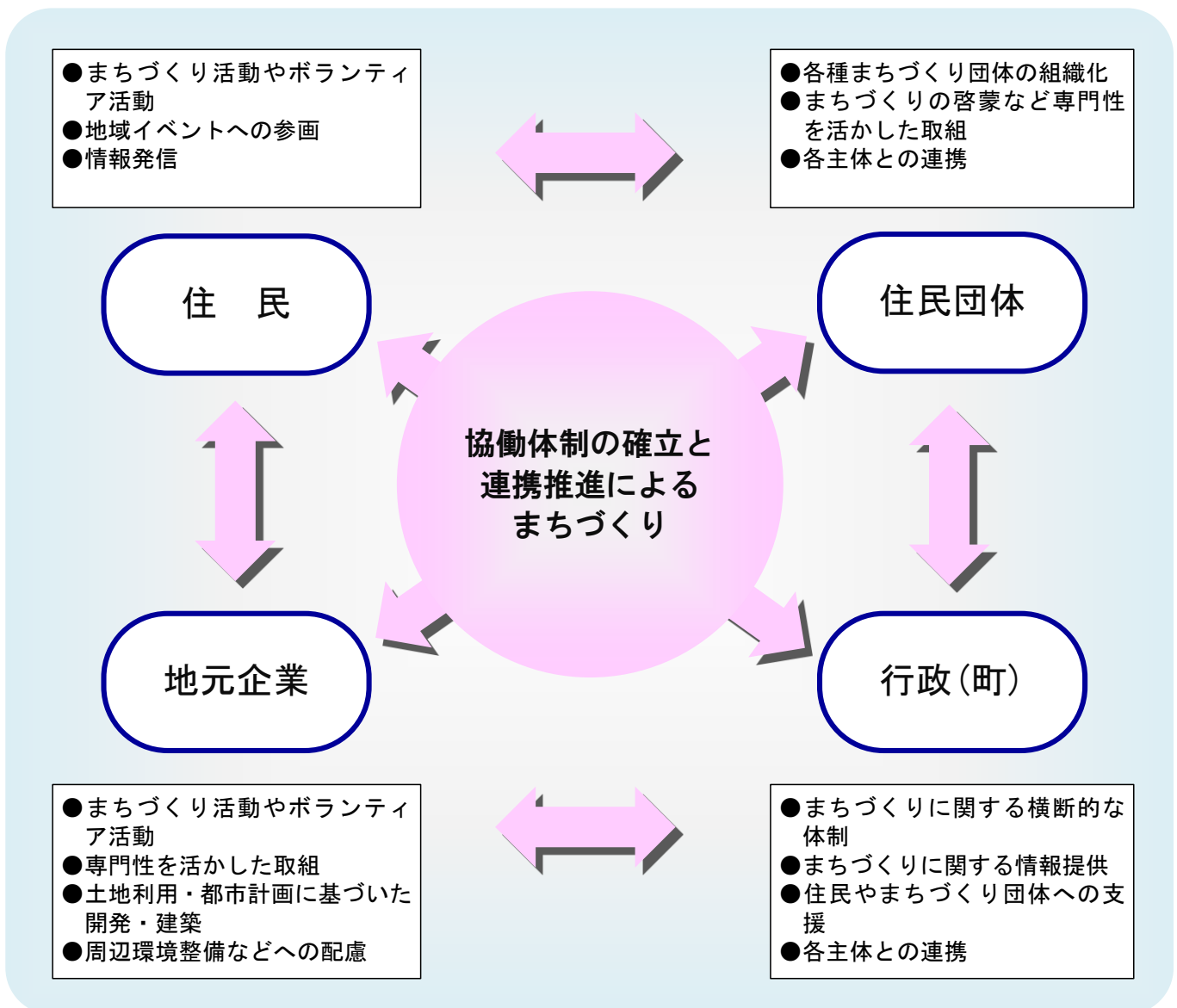
水と桜のレクリエーション軸形成プロジェクト

白石川河川敷を活用したサイクリングロードの整備

白石川右岸（川前地区）の高水敷を活用したレクリエーション拠点を整備

住民意向を踏まえた大河原公園のリニューアル

○官民協働のまちづくり連携体制イメージ



〈地域の目標像〉

生活を支える多様な機能が集まり誰でも住みやすく、あらゆる世代や町内外の居住者が交流する、便利・快適でにぎわいの中心となるまち

川西地区
地域別構想図



古くからの市街地（まちなかゾーン）

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保の用地として活用
- 豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

市街地ゾーン

- 低・未利用地や空き家を定住人口確保の用地として活用
- 緑化協定の導入やコミュニティによる植栽活動（花いっぱい運動）の促進を検討
- 生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
- 日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

農業集落ゾーン

- 農地集積による農業規模の拡大を推進
- 農業集落の居住環境の維持・向上を図る
- 営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図る
- 地域コミュニティの維持・向上に向けた集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備
- 蔵王への眺望の前景となる田園景観の保全
- 集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮

小島地区 (広域連携拠点)

- 仙南広域圏を対象とした文化機能や事務機能、大規模医療・福祉等の共同設置、維持・更新
- 国道4号および主要地方道巨理大河原川崎線から各種施設へのアクセス性向上

公共バスルートからはずれている地域

- 既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化を検討

自然環境ゾーン

- 森林の適切な保全
- 土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導
- 居住地や田園景観の背景として、また、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっている丘陵地の緑の景観を保全

国道4号沿道（商業ゾーン）

- 本町全域や仙南広域圏の自動車利用者を対象とした大規模な商業店舗の更なる立地を推進

末広橋

- 拡幅検討

既存商店街

- 道路空間の修景整備
- 低・未利用地を活用したにぎわい創出のための空間整備
- 国道4号沿いの大規模な商業店舗とは異なる魅力をもつ商業機能の誘致を目指す

国道4号

- 今後設置される屋外広告物のルール設定や分かりやすい案内標識の設置等による魅力的な道路景観づくり

旧奥州街道沿い

- 道路舗装や道路構造物等の改修時における歴史に配慮した景観整備
- 沿道建築物については景観に配慮したルール設定

にぎわい交流施設

- 利用者がアクセスしやすい周辺の道路環境向上
- 駐車場の整備
- 景観整備を検討

大河原公園 (レクリエーション拠点)

- スポーツ機能の強化

白石川河川公園 (レクリエーション拠点)

- 河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図る
- 親水空間の強化を検討

町役場周辺 (都市核拠点、地域生活拠点)

- 行政機能、医療・福祉施設、生活利便施設を集積
- 生活サービス機能、コミュニティ施設の機能強化
- コミュニティ施設における周辺環境のバリアフリー等の高齢者や障がい者にやさしい施設整備

白石川 (水と桜のレクリエーション軸)

- 歩行者路やサイクリングロードの整備、強化
- 河川と一目千本桜を活用した景観形成
- 河川空間の適正な維持管理を推進
- 特に魅力的な場所における景観整備

〈地域の目標像〉

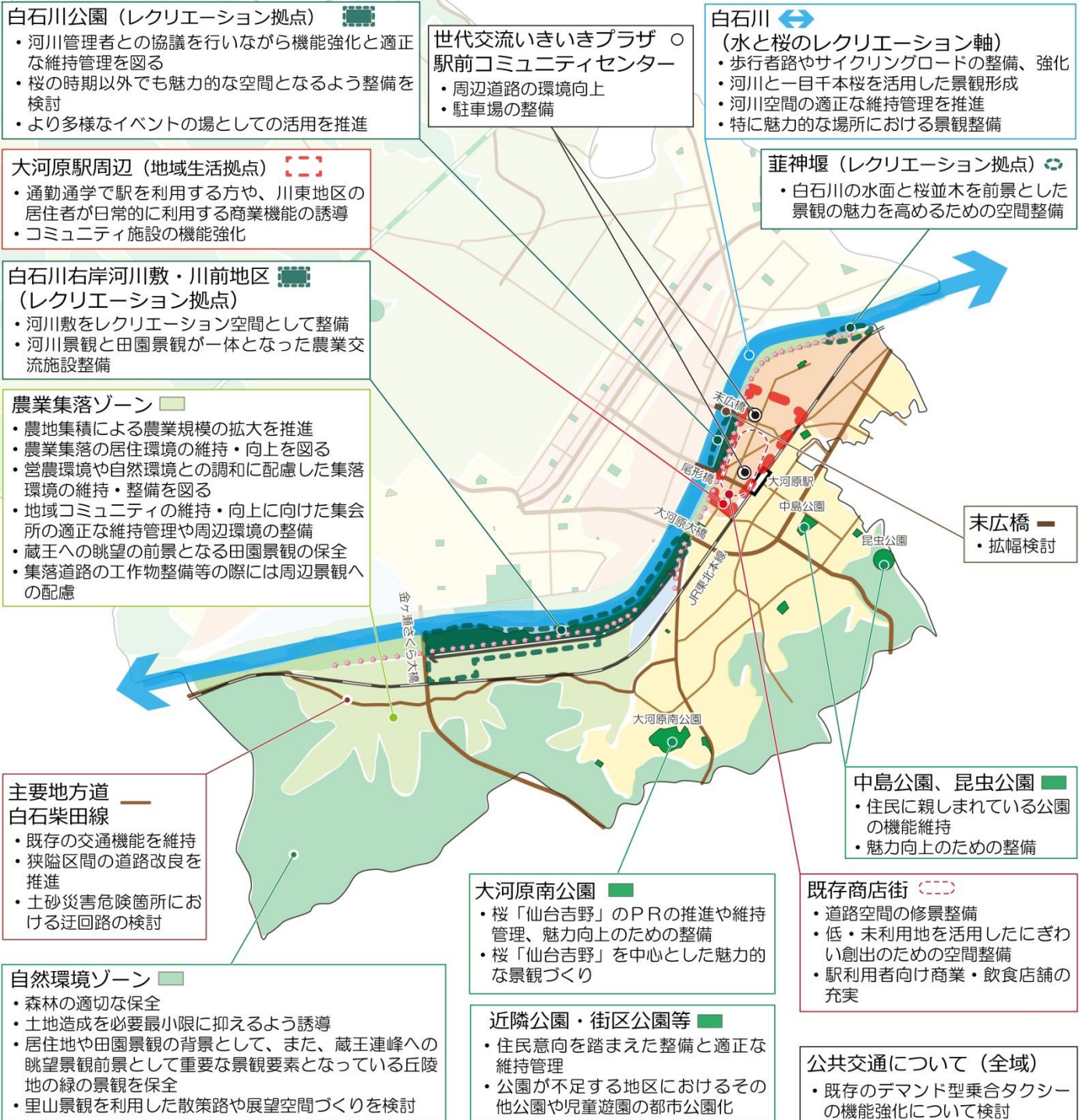
住む人々が互いに交流し助け合い、白石川や山・田園ののどかな風景が居住魅力を高める穏やかで温もりのあるまち

川東地区
地域別構想図



- 古くからの市街地まちなかゾーン**
- ・低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
 - ・豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
 - ・生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
 - ・日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

- 市街地ゾーン**
- ・低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
 - ・コミュニティによる植栽活動（花いっぱい運動）の促進を検討
 - ・生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
 - ・日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保



〈地域の目標像〉

昔馴染みのコミュニティと新たな定住者が交流し、魅力ある自然や風景と便利が同居する和やかで暮らしやすいまち

金ヶ瀬地区
地域別構想図



- 古くからの市街地（まちなかゾーン）**
- ・低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
 - ・豪雨時に冠水する生活道路については、優先順位を定め冠水の解消に努める
 - ・生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
 - ・日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

- 市街地ゾーン**
- ・低・未利用地や空き家を定住人口確保のための用地として活用
 - ・コミュニティによる植栽活動（花いっぱい運動）の促進を検討
 - ・生活道路の課題箇所を整理し、狭隘道路の拡幅、隅切整備、歩道整備等の道路改良を推進
 - ・日常の安全性や災害時の速やかな避難経路を確保

- 自然環境ゾーン**
- ・森林の適切な保全
 - ・土地造成を必要最小限に抑えるよう誘導
 - ・居住地や田園景観の背景、蔵王連峰への眺望景観の前景として重要な景観要素となっている丘陵地の緑の景観を保全
 - ・里山景観を利用した散策路や展望空間づくり

- 農業集落ゾーン**
- ・農地集積による農業規模の拡大を推進
 - ・農業集落の居住環境の維持・向上を図る
 - ・営農環境や自然環境との調和に配慮した集落環境の維持・整備を図る
 - ・地域コミュニティの維持・向上に向けた集会所の適正な維持管理や周辺環境の整備
 - ・蔵王への眺望の前景となる田園景観の保全
 - ・集落道路の工作物整備等の際には周辺景観に配慮

- 公共バス利用圏からはずれている地域**
- ・既存のデマンド型乗合タクシーの機能強化について検討

- 遊歩道（友遊こみち）**
- ・散策路の適正な維持管理や機能強化、散策路としての魅力を高める整備について検討

公民館を中心に地域の魅力的な場所を繋ぐ里山ネットワークづくり検討（散策路・サイクリング等）

- 金ヶ瀬公民館周辺**
- ・コミュニティ施設の機能強化を図る
 - ・利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討
 - ・公民館周辺における景観整備の検討

- 広表地区**（地域生活拠点）
- ・生活利便施設の更なる集積を図る
 - ・利用者がアクセスしやすいよう道路環境の向上や周辺における駐車場の整備を検討

- 旧奥州街道沿い**
- ・道路舗装や道路構造物等の改修時における歴史に配慮した景観整備
 - ・沿道建築物については景観に配慮したルール設定

- 大河原公園**（レクリエーション拠点）
- ・スポーツ機能の強化

- 大高山の桜**
- ・周辺における景観への配慮

- 白石川河川公園**（レクリエーション拠点）
- ・河川管理者との協議を行いながら機能強化と適正な維持管理を図る
 - ・親水空間の強化を検討

- 白石川**（水と桜のレクリエーション）
- ・歩行者路やサイクリングロードの整備、強化
 - ・河川と一目千本桜を活用した景観形成
 - ・河川空間の適正な維持管理を推進
 - ・魅力的な場所の景観整備

- 金ヶ瀬川根工業団地（工業ゾーン）**
- ・工場、事業所を中心とした土地利用の維持
 - ・工業団地内の基盤整備推進について検討

- 国道4号**
- ・既存の交通機能を維持
 - ・今後設置される屋外広告物のルール設定や分かりやすい案内標識の設置等による魅力的な道路景観づくり

- 近隣公園・街区公園等**
- ・住民意向を踏まえた整備と適正な維持管理
 - ・市街地の状況を考慮した都市計画公園の見直し検討



大河原町

Ogawara town public office

